

# 自治体と住民が協力し合う 住みよいまちづくりに全力

平成19年第1回山田町議会定例会が2月20日から3月9日まで開かれ、19年度の一般会計予算などが原案どおり可決されました。初日には沼崎喜一町長が「自治体と住民が知恵を出し合い、協力し合いながら『この町に住んでよかった』と思えるよくなまちづくりに全力を傾注したい」と第8次山田町総合発展計画の6つの柱を基本に、本年度の基本方針を述べました。今号では、施政方針の内容と19年度予算の中身を紹介します。

## 施政方針の内容



施政方針を述べる沼崎喜一町長

平成19年第1回山田町議会定例会が開催されるに当たり、平成19年度における町政運営の基本的な考え方並びに主要な施策について申し述べます。  
本年度は第8次山田町総合発展計画の2年目となります。発展計画に基づく「自主・自律・協働」のまちづくりを基本理念として「みんなで創る ひとと産業が元気なまち 山田」の目標

### 地域の特性を生かした産業振興で元気創造をめざすまち

### 春ガキ販路拡大キャンペーンを支援

県は昨年9月、地域の振興策として「県北・沿岸圏域における産業振興の基本方向―取組みの指針―」を示しました。策定に当たっては直接知事に要望を行い、漁協の地域営漁計画の策定、特用林産物のブランド化、金型関連企業の集積など、本町が求める産業振興策がおおむね組み入れられました。具体的な推進体制として、県、町、産業関係者で構成する「地域産業戦略会議」

を設置し、工程表を共有して進行管理を行うっていくこととしており、関係機関と一体となって地域産業の振興に積極的に取り組んでまいります。  
水産業については、ノロウイルス対策について国や県に対し、ウイルスの除去と不活化の研究促進などを継続して要望してまいります。「春ガキ」のおいしさを多くの人に知ってもらい、併せて販路を開拓するため、養殖業者と

連携し山田湾産「春ガキキャンペーン」などを支援してまいります。

漁家経営の安定支援については、漁業近代化資金の利子補給、カキ、ワカメ、コンブ養殖漁家が加入する特定養殖共済の掛金補助を継続して実施するとともに、新たにホタテ養殖漁家に対する掛金補助を実施してまいります。水産物の安定供給と衛生管理体制の強化、漁業系廃棄物の適正な処理を図るため、山田湾漁業協同組合の力キ殻破砕機、山田漁業協同組合連合会の製氷工場用電動フォークリフト、大浦漁業協同組合の魚類水揚げおよび選別作業用のベルトコンベヤーの整備、大沢漁業協同組合が計画している漁業系廃棄物堆肥化処理施設建設の早期実現、船越湾漁業協同組合が実施する海水殺菌装置の整備、織笠漁業協同組合が実施するふ化場取水用井戸増設事業に対して支援してまいります。

農林業については、リンドウ苗の購



第1次産業活性化のため、安全で安心できる農林水産物の供給を支援します

入、栽培用資材、生産管理機械を整備し、ホウレン草などについてはパイプハウス、生産管理機械を整備してまいります。

商工観光業の振興については、町中小企業融資制度で運転資金、設備資金の融資額を増額し、新たに開業資金の融資を立ち上げ、融資制度の利用促進を図ってまいります。また、山田町工場誘致条例を改正するとともに、企業

立地補助制度を新たに設け、企業が利用しやすい環境を整備致しました。優良企業の誘致を進め、雇用の場の拡大におおむね努力してまいります。  
観光は、観光客のニーズに対応した魅力ある観光地づくりに取り組むとともに「マリン・ツーリズム山田」とタイアップして、恵まれた自然環境と地域資源を有効に活用した体験型観光を推進してまいります。

### 環境にやさしい快適な生活基盤の整備で元気創造をめざすまち

### 公共下水道山田処理区の整備推進

三陸縦貫自動車道の「宮古道路」は昨年3月に、「釜石山田道路」は7月に起工式が行われました。宮古道路は宮古市金浜から同松山までの4・8キロが平成21年度の全線供用開始を目指し、釜石山田道路は両石トンネルと両石高架橋の大型工事が着工されました。引き続き山田までの早期着手を国および関係機関に強く要望してまいります。

町道細浦柳沢線については、県代行事業として採択されるよう、引き続き県に要望してまいります。  
豊間根地区の石峠橋の橋りょう補修事業を実施し、長林大浦線局部改良事業については、平成20年度の完成を目指して整備してまいります。  
柳沢北浜地区土地区画整理事業は、区画道路の整備とこれに伴う建物移転を進めてまいります。  
下水道の整備については、山田処理

町の全土の保全整備については、治山治水の災害予防として四十八坂地区の法面崩壊対策事業を促進し、また、国土調査事業は船越第17地割の一部321筆について地籍調査を進めます。本年度で田の浜地区を終了し、平成20年度からは大浦地区を実施してまいります。  
津波・高潮対策については、県事業として織笠川三陸高潮対策事業、山田・大沢漁港海岸保全施設整備事業を促進してまいります。

### 健やかで、安心できる暮らしの実現で元気創造をめざすまち

### 生活習慣病の「二次予防」に重点

健康づくりの推進については、近年、中高年の男性を中心に肥満の割合が増

加傾向にあり、多くが内臓脂肪型肥満で、内臓脂肪症候群（メタボリックシ

達成に向け決意を新たにしております。しかし地方自治を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、行政サービスを維持・向上させていくためには行財政改革を進め、町民と行政が協働で役割と責任を分担するまちづくりが重要になるものと考えております。予算編成に当たっては、徹底した行政改革と堅実な財政運営のもとに住民の要請に応えていくため、第8次山田町総合発展計画の施策事業を着実に推進するとともに、国庫補助負担金の改革、国から地方への税源移譲、地方交付税の見直しなどが町の財政に影響を及ぼすことを踏まえて、必要な財源の確保に努めてまいります。  
以下、第8次山田町総合発展計画に掲げる領域に従い、平成19年度の施策について述べてまいります。